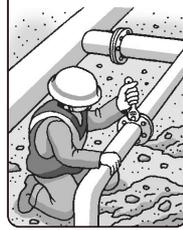


# 個人質問

2月定例会市議会では、二十九人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

## 行財政・まちづくり



デジタルミュージアム  
経営的視点で企画運営

デジタルミュージアムの  
利用状況と今後の運営方針は。

答 平成17年8月の開館以来入館者は延べ四十一万人を超えている。なお、これまでに開催した十三件の特別展については、二十三万人を超える入館者があったものの、収支については九件が黒字又は収



駅西口の拠点施設を目指して  
(デジタルミュージアム)

支均衡がとれ、残る四件は大きく収支不足をきたした。今後、財政事情が厳しい中、経営的視点からこれまで以上に収支バランスを考えた企画運営を行い、岡山駅西口前の立地という好条件を生かして、増収、集客に努めたい。

政令市区割りなど  
平成19年度中に方針を決定

政令市移行に向け、区割り及び区役所設置場所の検討方法と提示時期は。

答 先例市では、学識経験者や関係行政機関の職員等で構成する第三者機関へ諮

問し、区割りは人口、地形・地物、通学区域等を、区役所の位置は市民の利便性や既存施設の活用などをもとに協議している。これらを参考に、第三者機関へ諮問するとともに、市民説明会、広報紙、ホームページ等で、市民への情報提供と意見聴取に努め、平成19年度中には方針を決定したい。

老朽化した下水道管  
改築更新計画で延命化

耐用年数を超えた下水道管の状況と今後の対応は。

答 市内中心部の旭西処理区における全延長三百二十六キロメートルのうち、平成18年度末は五キロメートルであるが、28年度末には八十三キロメートル、38年度末には二百三十五キロメートルとなる。この対策として17年度から、処理区の改築更新計画の策定に着手し、18年度からカメラ調査等による老朽度評価を計画的に行っている。今後、適切な維

持・修繕による管の延命化を基本に、必要な改築更新を行い、効率的な管理に努めたい。



公共下水道の維持のために  
(取付ます取替工事)

合併特例区長と支所長  
権限分離で事務の明確化へ

問 これまで兼務となっていた御津及び灘崎町合併特例区長と支所長を、平成19年3月22日から分離することとなったが、その影響は。

答 合併特例区長と支所長を分離することにより、責任の所在を含め、合併特例区事務と支所事務が明確になる。その結果、市民は合併特例区の仕事と支所の仕事が区別しや

すく、相談もしやすくなることを考える。

漏水や老朽化により

国民宿舍桃太郎荘が休館

するに至った経緯と今後の方針は。

答 平成19年1月の調査で日量推計九・六トンの漏水や空調用配管等の老朽化が指摘された。また、外壁の老朽化など安全・安心な施設存続には抜本的対策が必要となる中、改修費用、公設国民宿舍の現状等を総合的に検討し、休館の結論に至った。今後、小串地区の特性、魅力や、その核施設であることなどを踏まえ、関係機関と協議を行い、早期かつ慎重に検討したい。

下水道事業整備計画  
全体計画区域を見直し

問 下水道事業は莫大な投資を必要とし財政を圧迫しているが、今後の整備方針は。

答 平成18年8月に実施した市民事業仕分けで、全体構想の縮小や市街化区域の早期整備などの意見が出されたことを踏まえ、19年度に全体計画区域の見直しを行う予定だ。